

名古屋大学大学院生命農学研究科応用生命科学専攻 (天然物ケミカルバイオロジー研究室)

助教の公募について

名古屋大学大学院生命農学研究科応用生命科学専攻では、下記の要領で教員を公募します。

記

1. 募集人員：助教（テニュアトラック教員）1名

2. 選考方針：

名古屋大学大学院生命農学研究科応用生命科学専攻は、農学分野における多様な生命現象の機構を最先端の生命科学と分子科学の理論と技術により解明し、その応用展開の基盤を作るための教育研究を進めることにより、食・環境・健康の増進と向上に貢献します。天然物ケミカルバイオロジー研究室（北将樹教授）は、大学院生命農学研究科および農学部において生命現象を対象とした有機化学、ケミカルバイオロジーに関連する教育を担当しています。また、生物活性物質の新たな作用機序や、物質レベルでは全く未知の生物現象の解明に挑戦し、医農薬開発につながる画期的なリード化合物の創出を目指した研究を行っています。今回公募する助教には、上記に関連した研究分野で優れた研究を行っており、北将樹教授と協力して先端的で優れた研究を推進するとともに、大学院・学部での教育と研究指導に熱意と誠実さ、責任感をもってあたる人物が望まれます。

3. 任期：5年。ただし、本学におけるテニュアトラック制度により、審査を経て合格した場合はテニュアが付与されます。

4. 給与：年俸制（名古屋大学の年俸制適用教員給与規程による）

※ 諸手当等、その他の待遇については、国立大学法人名古屋大学の規程に準拠します。

5. 応募資格：博士の学位を有する方、または着任までに取得見込みの方

6. 提出書類

(1) 応募する旨、明記した文章

(2) 履歴書（様式任意、ただし電子メールなどの連絡先を含めて下さい）

(3) 研究業績リスト（原著論文、総説、著書、特許、招待講演、学会発表、その他に分類して、通し番号を付けて下さい）

(4) 現在までの研究概要（2,000字程度：研究業績リストの番号を引用して下さい）

(5) 今後の研究および教育に関する抱負（2,000字程度）

(6) 特記すべき活動実績 (受賞歴、研究費獲得状況、学会関連活動、学生実習や授業などの教育活動、社会貢献、国際協働などで選考の参考になる事項があればお書き下さい)

(7) 応募者について照会できる方2名の氏名、連絡先、電話番号、e-mail アドレス

- ・ (1)~(7) の書類 1 通に加えて、応募書類を一つにまとめた PDF ファイルと、主要な原著論文など (5 編程度) の PDF ファイルを保存した CD 等の電子媒体を合わせて送付して下さい。

7. 応募書類の提出期限 : 2019 年 8 月 19 日 (月) 必着

8. 着任時期 : 採用決定後なるべく早い時期

9. 応募書類の送付先および問合せ先 :

〒464-8601 名古屋市千種区不老町 名古屋大学 大学院生命農学研究科 応用生命科学専攻
天然物ケミカルバイオロジー研究室助教選考委員会
委員長 北 将樹

e-mail: mkita@agr.nagoya-u.ac.jp, Tel: 052-789-4284

- ・ 書類は「天然物ケミカルバイオロジー研究室助教応募書類在中」と朱書きの上、書留郵便など配達記録の残る方法でお送り下さい。なお、受取の返信メールを必ずご確認ください。

10. 選考方法

書類審査後、面接を実施する予定です。(その場合、交通費は各自でご負担下さい。)

11. その他

(1) 名古屋大学テニュアトラック制度に関する規程については、Web ページをご覧ください。

<http://www.nagoya-u.ac.jp/extra/kisoku/act/frame/frame110001177.htm>

(2) 名古屋大学では、業績など(研究業績、教育業績、社会的貢献、人物を含む)の評価において、同等と認められた場合には、女性を積極的に採用します。

<http://www.kyodo-sankaku.provost.nagoya-u.ac.jp/>

(3) 着任後は卒業論文・修士論文・博士論文研究の指導、ならびに学生実習・全学共通教育科目・学部科目・大学院特論科目などの一部を担当して頂く予定です。

(4) 応募書類は本選考以外の目的には使用せず、返却いたしません。本選考委員会が責任を持って処分いたします。